

水産物の市況について(令和4年3月及び令和4年4月)

—東京都中央卸売市場における令和4年3月(令和4年2月21日～令和4年3月20日集計)の市況と、
令和4年4月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年3月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月よりやや減少し、前年同月比でもやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比では強含みで推移しました。

II 令和4年4月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量は引き続き低調、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。東京への冷凍物の入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は徐々に増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は冷めばち・冷きはだ主体に高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	3月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	27	1,177	28	1,125	29	1,467
前年	28	1,046	30	1,012	33	1,232

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	3月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	349	88	99	113
さけ類(平均)	1,252	121	150	133
(ぎんざけ塩蔵品)	1,005	101	121	106
(あきさけ塩蔵品)	899	114	158	130
(べにざけ塩蔵品)	1,560	106	123	128
(さけ類冷凍品)	1,304	126	160	144
さば(生鮮品)	327	78	98	78
するめいか(平均)	921	106	107	106
(生鮮品)	971	109	113	112
(冷凍品)	756	100	85	85
あじ(生鮮品)	523	102	108	86
まぐろ(冷凍品)	1,765	101	130	122
(めばち冷凍品)	1,320	101	136	124
(きはだ冷凍品)	1,186	102	123	123
(くろまぐろ冷凍品)	3,545	103	128	116
(みなみまぐろ冷凍品)	2,112	109	123	108
かつお(生鮮品)	553	66	103	77
さんま(生鮮品)	822	100	105	171

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:3月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613